

2020年12月22日

株式会社デファクトスタンダード

ブランディアが推進するSDGsの取り組み「#廃棄0プロジェクト」
大妻女子大学 家政学部被服学科 染色デザイン研究室と連携
— 伝統と最新手法を織り交ぜた5つの手法による廃棄衣料のアップサイクルに挑戦 —

BEENOS 株式会社(東証一部 3328)の連結子会社で、モノを通じて人と人をつなぐ「ブランディア」を運営する株式会社デファクトスタンダード(本社:東京都大田区、代表取締役社長:仙頭健一、以下「デファクトスタンダード」)は、2030年までに「ブランディア」のサービスから出る「廃棄0」を目指す「廃棄0プロジェクト」の第5弾として、廃棄衣料を大妻女子大学 家政学部被服学科 染色デザイン研究室に無償提供し、伝統染色やデジタル染色などを用いた5つの手法でアップサイクルする「ブランディア×大妻女子大学 家政学部被服学科 染色デザイン研究室コラボ #廃棄0プロジェクト」を2020年12月22日(火)より開始いたします。この取り組みの様子はブランディア特設ページやSNSで随時報告して参ります。



◆「ブランディア×大妻女子大学コラボ#廃棄0プロジェクト」の背景

当社ではSDGsの取り組みとして、2020年4月より、宅配買取サービス「ブランディア」にてお値段がつけられず、廃棄せざるを得なかった衣料に素材としての価値を見出し、廃棄を削減していく「廃棄0プロジェクト」を開始しました。これまでに、廃棄衣料を使った店舗ノベルティの作成、ハンドメイド素材としての無償提供、金沢文化服装学院による7着のドレスの制作企画、プロテニスプレーヤーとのタイダイ染企画など、リメイクやアップサイクルを通して形を変え、新たなデザインを施すことで廃棄衣料に新しい価値を見出す試みを行っています。

大妻女子大学家政学部被服学科 染色デザイン研究室との取り組みは、金沢文化服装学院に続く教育機関との連携の第2弾となります。アパレルの未来を担う学生みなさんに廃棄衣料をご活用いただき、身近な衣料の廃棄について考え、新しい価値を見出すきっかけを創出できればと思っております。

◆「ブランディア×大妻女子大学コラボ#廃棄0プロジェクト」の概要

特設サイト：<https://brandear.jp/sustainability/remake/otsuma>

廃棄0プロジェクト：<https://brandear.jp/sustainability>

コラボレーション 1. 伝統から最新まで、5つの手法で廃棄衣料をアップサイクル

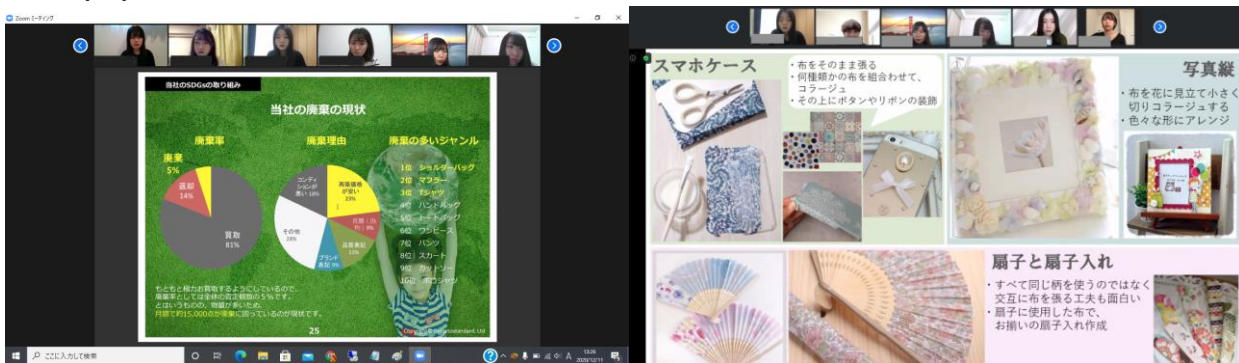
制作期間：2020年12月～2021年3月(予定)

大妻女子大学 被服学科3年生のみなさんが、伝統染色、手芸、工芸、デザイン・アート、デジタル染色の5つの手法を用いて廃棄衣料をアップサイクルします。

アパレルだけではなく、アクセサリや生活雑貨など、廃棄衣料が様々なアイテムに生まれ変わります。

コラボレーション 2.SDGsの取り組みとリユース事業について講義を開催

当社より、菅原・友寄(広報)、宮川(マーケティング)、碓屋(業務部)が登壇し、企業としてサステナブルな社会の実現に貢献するための取り組みや、日々の業務内容の紹介、循環型ファッションビジネスについて学ぶ授業を12月11日(金)にオンラインで行いました。



授業の様子（当社の取り組みの説明、アップサイクル案のプレゼンの様子）

大妻女子大学家政学部被服学科 染色デザイン研究室 中川麻子准教授コメント

今回のブランディアさんとの取り組みは、学生たちがSDGsについての理解を深める機会であると共に、これまで大学で行ってきた服飾、染色、デザインの学びを実社会に向けて活かす場となります。ブランディアさんからご提供いただく廃棄衣料に、伝統的な染色技法、デザインの視点、学生ならではの自由な発想を組み合わせ、新たなものづくりに挑戦します。混乱した世界が続く中、少しでも社会に貢献し、自分たちに出来る持続可能な取り組みとは何か？と問いかけながら、ブランディアさん、学生、教員一同となってプロジェクトを進めてまいります。

◆株式会社デファクトスタンダードの特徴

中核事業であるブランド品宅配買取サービス「Brandear（ブランディア）」を中心に、「ブランド・アパレル品のデータベース」「ローコストオペレーション」「テクノロジー」といった強みを活かし、約 7,000 ものブランドの買取に対応し、リコマースにおけるオンラインマーケットを拡大してきました。

また、リアル買取専門店「ブランディア」、オンライン査定「ブランディア Bell」など買取の間口を広げ、オンライン、オフライン双方の利点を活かし、常にお客様の安心と利便性の向上を目指します。さらにグローバルリコマースにおけるマーケットを積極的に開拓し、国内外で求められるアイテムをお客様に直接、適正な価格で販売することにより、買取価格に反映し、価値ある品物を次に繋いでいく「バリューサイクル」な社会の実現を目指します。

■株式会社デファクトスタンダードの概要

- (1) 社名：株式会社デファクトスタンダード
- (2) 代表者：代表取締役社長 仙頭健一
- (3) 本店所在地：東京都大田区平和島 3-3-8 山九平和島ロジスティクスセンター 5F
- (4) 設立年月：2004 年 4 月 27 日
- (5) 資本金：100 百万円※BEENOS 株式会社（東証一部：3328）の連結子会社です。